

原発事故から 新たな連帯を模索する 研究者の闘いと希望

〈目次〉

線量計

組合選挙

笠谷の話

ロシア語クラス

源さん

福島の旅

あのこと

海の見える台地

物語 内なる巨人の解放

再会

庄司博士の語ったこと

崖の上の家



ISBN 978-4-406-05904-6

かざみ・しょうたろう
1948年 福井県敦賀市生まれ。
1971年 京都大学工学部電気科卒業
日本民主主義文学会会員、
日本科学者会議会員

著書
『海岸隧道』(日本民主主義文学同盟
発行・東銀座出版社発売)『けぶる対
岸』『浜風受くる日々に』(新日本出版
社)『海蝕台地』『神の与え給ひし時
間』(ケイ・アイ・メディア)『風見梢太郎
原発小説集』(光陽出版社)

大手通信系企業の研究所で働く真下裕造は、
共産党員として職場でさまざまな差別を受けながらも、
それに抗して活動を続けて退職間近を迎える。
福島第一原発事故を契機に、かつての
学生運動仲間と専門的知識を共有しながら
原発ゼロの運動をすすめる主人公と、
その心意気に共感して党に接近してくる
職場の若者たちを描く長編。

新日本出版社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-6
TEL03-3423-8402 FAX03-3423-8419(営業)
info@shinnihon-net.co.jp
www.shinnihon-net.co.jp

キリトリ

注文書	帖合・貴店印		新日本出版社 Fax03-3423-8419		お名前
	注文数	風見梢太郎〈著〉	あした	再びの朝	ご住所
	冊	ISBN 978-4-406-05904-6	定価:本体2200円+税		お電話
	(ご担当 様)				

風見梢太郎

再びの朝

四六判上製/255頁 定価:本体2200円+税